

エレクトロニクスで、 もっといい世界に。 もっといい明日に。

第65期 報告書

2019年4月1日~2020年3月31日

株主の皆様へ



代表取締役社長 大倉 慎(おおくら しん)

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第65期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

先端技術電子デバイスとソフトウエアなどのシステム開発を提供する当社は、国内外の拠点を結ぶネットワークを活かし、最新の技術・製品・価格などの情報収集に努め、自動車、FA・工作機械、情報通信、医療、環境・エネルギー分野などのお客様へ、最適調達・最適生産に向けたベストソリューションを提供しております。

今後も株主様のご期待に添えるよう、企業価値の向上とガバナンスの強化に努めてまいります。

2020年6月

【経営理念】地球環境を守り、人に愛され、信頼される良い企業で有り続ける。

【経営ビジョン】 基本徹底 Enforce Fundamentals Quality First for Customer!

【企業目的】エレクトロニクスのソリューションプロバイダーとして、環境、移動など、 社会・生活インフラを快適にします。

→東海エレクトロニクス株式会社 https://www.tokai-ele.com/

証券コード:8071

中期経営計画「Value Fusion 2022: VF22」

当社はこれまで「Business Revolution 2013」「Global Action 2016」「Value Innovation 2019」の各3ヵ年計画の下、「新たな価値を創造するソリューションプロバイダーとして、お客様のかけがえのないパートナーに」を合言葉に、自動車ビジネスの深化、海外拠点網やエンジニアリング機能の強化、システムやソフトウエアなど新領域のビジネス取組を積極的に進めてまいりました。

これまでの成果を引き継ぎ、更に高い次元で価値、ソリューションのご提供ができる企業へ飛躍すべく、2020年度からの新中期経営計画「Value Fusion 2022」(略称:VF22)を策定しました。

VF22の方針の下、益々エレクトロニクス化、グローバル化が進む事業環境の中で、全社一丸となりお客様の視点に立ったソリューションのご提供に努めてまいります。

2022年度目標

連結売上高 520億円、営業利益 10億円、当期純利益 5.5億円

VF22の骨子

- 1. 共に手を取り、未来への価値を創ろう ~お客様の期待を超える感動を
 - 創り出そう~
- 2. より豊かな生活に、より良い環境作りに貢献
 - ~自動車、医療、環境・エネルギーなど 社会・生活インフラへの注力~

VF22 Key for Success

- 2 グローバルに活躍する仕事のプロを目指そう
- 3 システム・ソフトウエアビジネスを拡大しよう
- **②** 正確かつ健全な財務(B/S)体質を目指そう
- 🤇 🕦 自動車とそのアプリケーションに精通し、モビリティー社会の創造に貢献しよう
- ❷ システム構築からセンサ、素材、ソフトウエアなど、私たちの強みで新たな価値を創ろう
- ❸ 持続可能な社会の実現に向け、医療、環境・エネルギー分野で貢献しよう

グラフで見る業績及び株式関連指標



親会社株主に帰属する

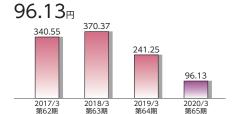
当期純利益

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



営業利益 (単位: 百万円)



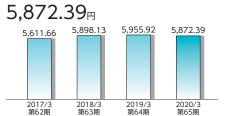
総資産・純資産・自己資本比率の推移





1株当たり純資産

(単位:円)



経常利益

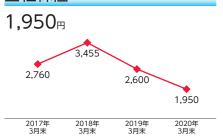
(単位:百万円)



当社株価

(単位:円)

(単位:円) □中間 ■期末



配当性向・1株当たり配当金



トピックス

■創業75周年を迎えます

おかげさまで東海エレクトロニクスは本年10月1日に創業75周年を迎えます。これもひとえに株主様をはじめ、皆様方のご愛顧によるものであり、厚く御礼申し上げます。今後ますますの成長を目指し社員一同まい進してまいりますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



■藤田電機工業株式会社の半導体販売事業の一部を統合

2020年4月1日に、藤田電機工業株式会社の半導体販売事業の一部を統合いたしました。

エレクトロニクス市場では、従来以上に価値創造力、お客様に対するソリューション提案力が求められる状況となっています。 こうした市場のニーズにお応えできるよう、半導体販売事業の一部を譲受け、お客様に対してより良いサービスを提供する体制を 構築いたしました。

これに伴い、新たな組織(中部・関西第3カンパニー)を新設し、お互いが培ってきた価値の融合を進め、自動車市場へのソ リューション提案力を強化してまいります。

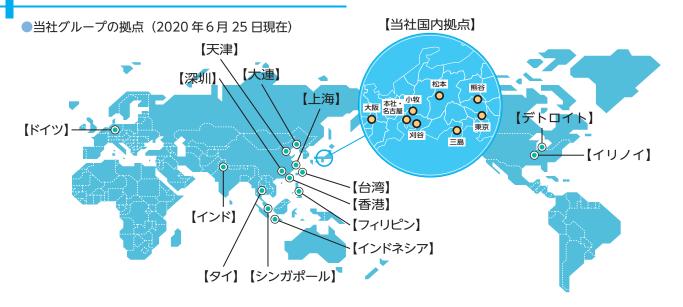
1. 事業譲受の目的

当社と藤田電機工業株式会社が、それぞれ培ってきた経験、技術、提案力を結集して、より良いサービスをお客様へ提供できる体制を構築することを目的とします。

- 2. 相手先企業の名称
 - 藤田電機工業株式会社(名古屋市中村区)
- 3. 譲受事業の内容
 - 半導体に関わる販売事業の一部
- 4. 事業譲受日 2020年4月1日



コーバルネットワーク



地域別の売上高(2020年3月期実績)

(単位:百万円)









(注) 売上高は、お客様の所在する国・地域をもとに分類しています。

5つの注力分野

VALUE FUSION

お客様と一緒に新しい価値を創造します。

Value Fusionとは、価値の融合、そして昇華。

異なる視点、経験を有する複数の当事者、会社がコラボレーションし、 柔軟な発想でそれぞれの意見を出し合い、ぶつけ合うことで、既存の考 え方や概念から脱皮し新たな価値を創出できます。

東海エレクトロニクスは、パートナーの皆様と5つの注力分野で新しい 価値の創造に取り組んでいます。



Automotive

100年に一度の変革期にMaaS、 CASEなど次世代の自動車開発に貢献。

- ■MaaS・CASFへの提案 次世代コックピットデモセット
- ●国際カーエレクトロニクス技術展 への出展
- ●自動車の安全・安心を支えるセンシング、 制御に係るシステム・デバイス





Software

幅広い分野での豊富な開発実績と先進の 技術を応用し、様々な開発二

- ●ソリューション開発ビジネス 自動運転時代に向けた新サービス創造(MaaS)
- ●ソフトウエア受託開発
- ●ライセンスビジネス
- ●航空宇宙産業での開発受託





Medical

すべては現場の声から。領域を超えた 新しい発想でソリューションを提案。

- ●医療・介護現場のための見える化
- ●医療・介護向け見守りソリューション (転倒防止システム)
- ●医療現場のための検査者履歴システム
- ●医療と介護の総合展(メディカルジャパン) への出展





IoT • FA

「次世代通信」「無線通信」「ロボットセンシング」 の技術で工場の自動化・見える化を実現。

- ●次世代通信
- ●無線通信
- ●ロボットセンシング
- ●工場の自動化・見える化など IoT課題ヘシステム開発 金型監視システム V-Mold®/ プロジェクションアッセンブリーシステム





Environment & Energy 最新のテクノロジーを快適で環境に 優しい社会のために。

- ●自動車の省エネ化、軽量化
- ●エネルギーマネジメント
- ●展示会への出展

「エコマテリアルZone」のテーマを掲げて展示会に出展。 地球環境に優しい材料の提案、軽量化で省エネに繋がる 技術や様々なシステムの紹介を実施



会社概要 (2020年3月31日現在)

社 名 東海エレクトロニクス株式会社

TOKAI ELECTRONICS CO.,LTD.

創 業 1945年10月1日 設 立 1955年5月24日

本社所在地 名古屋市中区栄三丁目34番14号

資 本 金 3,075,396,000円 従業員数 355名 (連結)

役員一覧 (2020年6月25日現在)

地 位		氏	名	
代表取締役社長	大	倉		慎
取締役 専務執行役員	笹	Ш		剛
取締役 専務執行役員	森	\blacksquare		誠
取締役 常務執行役員	小	和瀬	靖	明
取締役 常務執行役員	鈴	木	章	浩
取締役 常務執行役員	井	Ш	光	治
取締役(社外取締役)	岡	根	幸	宏
常勤監査役	森	永	靖	彦
監 査 役	梶	\blacksquare	洋	志
監査役(社外監査役)	水	野	和	仁
監査役(社外監査役)	大	橋		宏
上席執行役員	笹	井	賢	次
上席執行役員	牧	島	賢	治
上席執行役員	西	出	英	司
上席執行役員	水	谷	法	彦
上席執行役員	小	林	敦	司
上席執行役員	Ш	内	康	司
上席執行役員	Ш	\blacksquare	亮	Ξ
執 行 役 員	Ξ	宅	雅	之
執 行 役 員	佐	藤	竜	_
執 行 役 員	黒	Ш	俊	樹
執 行 役 員	冏	久 津	孝	行
執 行 役 員	嶝		恵	_

株主優待のご案内

○対象株主様

2020年3月31日現在で 東海エレクトロニクス株 式会社の株主名簿に記載 または記録してある1単 元 (100株) 以上ご所有 の株主様。



○優待内容

JCB-QUOカード

1 単元 500円券×1枚 (500円分) 2 単元以上~10単元未満 1,000円券×1枚 (1,000円分) 10単元以上~20単元未満 1,000円券×3枚 (3,000円分) 20単元以上 1,000円券×5枚 (5,000円分)

○優待送付時期

2020年6月の定時株主総会終了後にご送付いたしました。

一東海エレクトロニクス株式会社

〒460-8432 名古屋市中区栄三丁目34番14号 TEL(052)261-3211

株式の状況 (2020年3月31日現在)

(1) 発行可能株式総数 6,242,800株

(2) 発行済株式の総数 2,181,415株 (自己株式178,848株を除く。)

(3) 株主数 1,716名

(4) 大株主

大 株 主 名	持 株 数	持株比率
O K U R A 株式会社	297,500株	13.63%
HARUKAZ株式会社	206,200株	9.45%
牧	168,091株	7.70%
江 口 由 江	145,127株	6.65%
江 □ 志 津	86,324株	3.95%
東海エレクトロニクス従業員持株会	64,724株	2.96%
株式会社メルコホールディングス	61,630株	2.82%
株式会社三菱UFJ銀行	52,790株	2.41%
大 倉 偉 作	43,900株	2.01%
株式会社三井住友銀行	40,000株	1.83%

(注) 1. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

2. 江口志津氏は、2019年2月13日に逝去されましたが、名義書換未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、企業体質の一層の充実・強化をはかり、業績に裏づけされた安定的且つ継続的な配当を株主様へ行うことを経営の重要課題と考えております。

これまでの成果から、株主様のご支援にお応えするため、期末配当金を1株52円といたしました。なお、中間配当金は52円でしたので年間配当金は104円となります。

株主メモ

事 業 年 度	4月1日~翌年3月31日		
期末配当金受領株主確定日	3月31日		
中間配当金受領株主確定日	9月30日		
定時株主総会	毎年6月		
株主名簿管理人	一举口口/是到给小士会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 		
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話:0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
上場証券取引所	名古屋証券取引所		
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.tokai-ele.com/ (ただし、電子公告によることができない事 故、その他のやむを得ない事由が生じたとき は、日本経済新聞に公告いたします。)		
(一)() 辛)			

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、 原則、□座を開設されている□座管理機関(証券会社等)で承る こととなっております。□座を開設されている証券会社等にお問 合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り 扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別□座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、 三菱UFJ信託銀行が□座管理機関となっておりますので、上記特 別□座の□座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。





